

OCCURS関数

指定された文字列が出現する回数を数値で返す

◇機能

検索対象において、指定された部分文字列が出現する回数を数値で返します。

◇構文

OCCURS(検索対象,検索文字列)

	引数	入力内容
1	検索対象	検索対象となる文字型フィールドまたはリ文字のテラル値、式を指定します。
2	検索文字列	検索対象の中から出現回数を検出したい文字列を指定します。大文字と小文字は区別されます。

◇戻り値のデータ型

数値型

◇処理の例

例	式	戻り値	説明
「商品No」フィールドの値が「30103003」のとき、「3」が出現する回数	OCCURS([商品No],"3")	3	<u>3</u> 010 <u>3</u> 003
「商品No」フィールドの値が「30103003」のとき、「30」が出現する回数	OCCURS([商品No],"30")	2	<u>3</u> 010 <u>3</u> 003
「商品No」フィールドの値が「30103003」のとき、「3000」が出現する回数	OCCURS([商品No],"3000")	0	出現しないためゼロを返します。